

ドバトを近づけないで！

ドバトとは？



《 由来 》

中近東、北アフリカ、南ヨーロッパなどの乾燥地帯に住む野生のカワラバトが飼いならされたものです。日本には古く奈良時代に持ち込まれ、多くの人に飼われていましたが野生化し、現在のドバトになりました。

《 習性 》

木の実、草の実、芽、葉など、植物性のものを食べ、雑草の種を駆除してくれるといった良い面もあります。

《 行動 》

群れで行動し、雨の降り込まない棚状の所にねぐらや巣を作ります。繁殖期は長く、早春から初冬まで何度も子育てをします。



こんな苦情よくあります！

ベランダの手すりやひさしに群れでやって来て、糞や羽毛であたりを汚す。

鳴き声がうるさい。

ベランダなどに巣を作って、まわりを汚す。ダニが発生する。



健康被害が心配だ。

オウム病（鳥類との接触による）やクリプトコッカス症（乾燥した糞を吸い込むことによる）、アレルギーなど

ハトにはエサをやらないで！

- ドバトは繁殖力が強く、天敵も少ないため、すぐ増えてしまいます。
- ドバトの糞に含まれる菌を吸い込むこと等により、オウム病やクリプトコッカス症に感染することがあります。
- ドバトが増加すると「ドバト公害」も増加します。最近では、公園などでエサをやる人と近隣住民との間でトラブルが多発しています。また増えすぎることはドバトにとっても良いことではありません。むやみにエサを与えることはやめましょう。

まずは試してみてもいい！

- ドバトはベランダなどに降りるとき、いったん手すりなどにとまり安全を確かめる性質があります。手すりにとまれないと降りることはできません。（広いベランダなどには直接降りる場合があります。）→手すりにテグス等を張り、とまれなくしましょう。（テグス法）
- ドバトは糞のあるところが安全だと判断するようで、糞を放置するとますます集まってきます。面倒でもこまめに掃除をしてベランダ等はいつも清潔に保ちましょう。
- ドバトは雨のかからない乾いた棚状の場所に巣を作ります。特に人の出入りが少ないベランダの隅やエアコン室外機の下や裏などが大好きです。このような場所に入らせない工夫を行うとともに、常に清潔に保ち、巣を作り始めたらすぐ取り除いてください。
- 巣を作りそうな場所には、動物忌避剤や木酢液など臭いのする薬品等を雑巾などに浸して置いておくと寄り付きません。
- ただし、すでに巣作りしてヒナや卵がある場合は、巣立ってから巣材を取り除いてください。卵は16～18日でかえり、ヒナは約30日で巣立ちます。

許可なく、野鳥を捕獲することは、法律により禁止されています。
迷惑だからといって、捕まえたり、卵やヒナを捕ってはいけません。



どうしても、被害の軽減が図れない場合は、動物管理センター分室(06-6978-7710)に有害鳥獣の捕獲許可について御相談ください。

ただし、捕獲許可申請については、その土地の所有者か管理者あるいは依頼を受けた業者が行い、申請者が捕獲することになります。